		7-名—						プレィ	ヤー名	i ——				技能	技能 レベル	基本 命中力	基本回避力	基本追加 ダメージ	鎧と	盾					ランク	必要 筋力	回避力	防護点
,,,	リス													ファイター	0				鎧		ソ	フトレ	ザー			7		3
種族 タビット 種族特徴 第六感												グラップラー フェンサー	0				盾 そのも	也補正(防身	国羽孰/向	避行動	etc)							
生:	₹ħ	 操霊術士				性別	o ⁷¹			年齢 11			シューター	0				回避扣		KD/III/ II	AE-11380	c ()			合計値	0	3	
冒険者Lv 2						1273		忘れられ	<u></u> ない恐	<u> </u>				武器						命中		追	加			- -	242	
						経歴	2-6	2-6 本から大きな影響を受けたことがある。					EV fig								追加 命中力 C值 p ⁺ X-j ⁺ 威力 3 4 5 6 7					9 10	11 12	
経	魚点	500			4-2		監禁され	たこと	ことがある。									2d	+			++						
			۱-F	成長	他修正	能力値 オ	デーナス	技能		Lv.	拐	能	Lv.							2d	+							
技	n ⊢		5			11	1	コンジャ		2										2d	++							
体		捷度 第力	3			9	1	セー	シ	1				一般装備品					(3年	[チェック)							000	
	∩ ⊢	命力	7			13	2							<u> </u>	<u> </u>												000	
ŵ	4		18			28	4							ぬいぐるみ					-								_	
<i>'</i> 'U'	精	神力	11			21	3							ぬいぐるみ					-									
戦闘特技 言語 会話 読文										マギスフィア ○□□○□□ 保存食(1週間分) ○□□○□□													000					
	魔法拡	太大/数		1-289	Эр			p			共通語	0	0		间分)				-		所持金	Ē	440		預金·借 G	並		G
					р			ŗ	1		文明語		0					_				_ \\	<u> </u>			1		
		p					p	1		蛮族語_ 文明語	0	0	制限移動 通常科			回避	防護点		HP		法技能 霊魔法	Lv 2) 魔法	技能	Lv.	魔力	
					р			p	1 -)鬼(山)	X 97 nn			3 _m 9	m 2	27 m	2d+ O	3	IJL	19] *	亚尼仏		+ 0				
		p											魔物知識/弱点	先	制力	生命抵抗	精神抵抗	九	MP									
		р					p						2d+ 5	2d+	0	2d+ 4	2d+ 5		27									
		р					p						<u> </u>															
		р					·	р р				装備品				説明			装備品				説明			説明		
		р					F	1 -					頭															
					Μ									耳														
練技/呪歌/騎芸/賦術										名誉	アイテム	H	製	<u>関</u>							-							—
									 																			
														<u>右手</u>							左手							
									\parallel					腰														
						1					足	- 74 71 11 1		1 10 2 4 1 4 1	4. 4. v.													
														その他魔導書(魔法	の発動体) 具語魔法	5、探霊魔法の行	使に使用/常にア	クリスの	周りを浮遊								
												──── その他メモ ──── タビット族の成長は早く、大抵のタビット族は成人を迎える数年前から働きに出た									 nする.					失敗 一ック		
														使も6歳になると他の同種と例外なく、就職先を求めて街へ向かう途中だった。 街へ向かう時はいつも利用する見慣れた小道、でも少しいつもと様子が違う気がした。									J 7 00°					.90]□⑤
														いつもならすぐ近くから聞こえるはずの、小動物や昆虫たちの歌声が聴こえない。								アけいた	ΦI=					
									\parallel					決してタビット族は危険を察知する能力は低いわけではない、何かがおかしい、気がついてはいたのに、 …それを回避するだけの敏捷性は僕には備わっていなかった。														
									1					突然、視界ををズタ袋に遮られ、状況も分からぬまま成す術もなく捕らわれてしまう。音や空気で何処か知らない場所へ連れて行かれていることだけは理解できた。													□□ ∅ □□ ७	
							1																					
								名誉	点 所持	0	 /合計	0	ようやく視界を遮っ															